



校章の由来

六角形の星と宮城県の宮で構成されている。

星は水産の水を表現したもので、全地域にはばたく水産健児の意気を示したもので、大正初期に制定されたものである。

校訓

向洋三心
尚志
創造
力行

校歌

鼎が浦に 生いたちて
建学ここに 幾星霜
久遠の歴史 固めつつ
海の文化の 象徴と
湾頭高く 輝ける
おお 気仙沼向洋高

望めば遠し 太平洋
金波は踊る 海の幸
科学の力 傾けて
宝庫開かん 使命こそ
我等が担う 誇なる
おお 気仙沼向洋高

世界にひびく 水産の
誉れを挙げん 我等なり
暖流遙か 南より
盛り上り来る 八百潮の
高鳴ることく 讃えなん
おお 気仙沼向洋高



1月22日(月)に
校内課題研究発表会が
行われました。
ご来場くださった
保護者の皆様、
誠にありがとうございました。





これから進んでいく皆さんへ

PTA会長 村上 真人

卒業生の皆さん、ご卒業あめでどう
ございます。高校生活は、将来の自分
を育てていくのに大切な期間だと思い
ます。あつという間の三年間、完全燃
焼できたでしょうか？保護者としての
私たちは、子供だと思っていた皆さん
が成長し、大人なつていく姿を見守っ
てきました。それはこれからも変わり
ません。でも皆さんは、自分で決め
進むという大きな力を身に着けまし
た。私たちは分かっていますよ。寂し
くもありませんが、頼もしくうれしく思
います。苦しいこともあるかもしれま
せんが、周りをしっかりと見てくださ
い。助けてくれる人は必ずいるはず
です。私たちも偉そうなことを言っ
ています。同じ道を通ってきたから心
配なんですよ(笑)うるさい親ですが、
もう少しだけおせっかいかいさせて
ください。

いででしょうか？そんな先輩になれるよ
うに次の学年での活躍を楽しみにして
ますよ！

保護者の皆様、日頃よりPTA活動
にご理解いただき、ご家庭でのお子様
のサポートをいただきまして、この場
を借りて感謝申し上げます。コロナが
明け、日常が戻ってくると思っていま
したが、沈黙の期間は学校生活、PT
A活動、普段の生活までそれが日常
だったか戸惑う結果になってしまいま
した。マスクがなかなか外せない。ど
こまでがよくてダメなのか。今でも
どかしい感覚が消えません。PTA活
動も以前のようにはまだまだ戻って
いません。インフルエンザも重なり、足
踏み状態が重なりました。今はいろ
んなツールがあります。うまく活用す
れば出来ることは広がっていくんだと思
います。皆さんのいろんな考え、気持
ちを取りこぼさないよう、協力して
きましょう。楽しい一年間ありがとうございました。

一年生、二年生の皆さん。先輩たち
は格好良くて頼もしいですね！課題研
究や部活での成長した姿は、今後の学
校生活に光を照らしてくれたのではな



「啄」の在り方

校長 白幡 充

保護者の皆様には、日頃より本校の
教育活動にご理解とご協力を賜り厚く
御礼申し上げます。東北高P連福島県
大会への参加、全国高P連宮城県大会
の運営、PTA学校美化運動、PTA研
修会など例年より行事の多い一年であ
りました。私にとつて一つ一つの行事
が貴重な経験であり、充実した時間
を過ごすことができました。村上真人会
長をはじめ、PTA活動にご尽力いた
だいた保護者の皆様に改めて感謝申
し上げます。

さて、今年度、私から先生方への職
員会議資料のタイトルを「啐啄同時」
としました。数年前のPTA会報を眺
めていると、偶然にも第十代校長の千
田健一先生が「啐啄同時」というタイ
トルで挨拶文を書かれておりました。
雛が卵から出ようとすると殻をく
ちばしでつついて破ろうとすることを
「啐」、親鳥が外から殻をくちばしで破
ろうとするのを「啄」と言います。
つまり、「求め」と「支援」のタイミ
ングが合うことの大切さを示していま
す。

子供たちが抱える問題は多様化・複
雑化しており、啐啄のタイミングを捉
えることが難しくなっています。そし
て、急激な社会変化は「啄」の在り方
にも影響を及ぼし始めています。「高
校生と保護者の進路に関する意識調査
二〇二一（リクルートキャリアガイダ
ンス調べ）」では、「進路選択について
のアドバイスを難しい」と感じる保護
者は継続的に七〇％程度存在するが、
その要因として「社会がどのような

なつていくのか予測がつかないから
(五十三・一%)」が前回調査から九pt
増加して「入試制度をはじめ最新の進
路情報を知らないから(五十一・一%)」
を抜いてトップになりました。「キャ
リアガイダンス」編集長の赤土豪一
氏は解説の中で「二〇〇三年より隔年
で実施しており、(中略)コロナによ
る生活環境や価値観の変化が親子の
コミュニケーションにも影響しているこ
とが、今回初めて見受けられました。」
と述べています。

相談されるのは嬉しいもの。しかし、
自分の経験値が通用しないことを相談
されたときにアドバイスが難しいと感
じるのは当然のことです。新興感染症、
環境問題、日本の人口減少など誰も経
験したことのない時代の到来。様々な
課題を解決し、豊かな未来を創造する
解は一つではありません。このような
時代を生きる子供たちの「啐」に、ど
のような「啄」で応えればいいのかで
しょう？

「重要なことは、正しい答えを見つ
けることではない。正しい問いを探す
ことである。間違つた問いに対する正
しい答えほど、危険とはいえない。ま
でも役に立たないものはない。」マネジ
メントの発明者と言われるピーター・
ドラッカーの言葉です。

ドラッカーの言葉をヒントにしなが
ら、保護者の皆様と一緒にこれからの
「啄」の在り方について意見交換がで
きればと思っております。保護者の皆
様には、今後ともご支援とご協力を賜
りますようお願い申し上げます。

PTA専門部活動報告

一年間を振り返り

健全育成委員長 三浦 玲子

新型コロナウイルスの五類移行後、今年度計画した健全育成委員会の事業は、PTA会員皆様のご協力のもと予定どおり実施することができました。

中でも、学校美化運動では、市民運動会の開催と重なるなどのお忙しい中でも、多くの会員と生徒の参加をいただき、清掃活動を行うことができました。また向洋祭PTAブースの開設にあたり、前日準備から都合のつく会員の手により当日は憩いの場を設けることができました。

これらの活動の裏には、お忙しい中でも入念な事前準備や保護者への連絡や取りまとめなどにあたってくださる先生方のご協力もあり、安全に活動できているものと有難く感じています。

今年度は本校PTAが事務局となり、八月に行われました「全国高等学校PTA連合会大会(二〇二二)」などの運営に携わることで、多くの貴重な体験をさせていただきました。コロナ禍を経てこれらの活動を通して改めて感じたことは、子どもたちが制限のない普通の高校生活を送れることへの感謝であります。さらに「安全安心な充実した学校生活を過ごさせたい」との子どもたちへの共通の思いをふまえ、本委員会活動が、その一助となればと考えております。

お忙しい中、各種活動にご理解とご協力をいただきました。PTA会員の皆様から感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



一年を振り返って

進路対策委員長 工藤 惠李

進路対策委員長を務めさせていただいた工藤です。本年度は子供達もPTAも活動範囲が広がり、充実した生活を取り戻したと思います。

活動報告として、開催する日程が少し遅くなりましたが、PTA会員の親睦と進路研修を目的とした「研修旅行」を十月二十八日(土)に行いました。研修内容は、お子さんが進学を希望されればオープンスクールなどに親子で行くと思いますが、なかなか見学ができない大学(今回は石巻専修大学)へ行ってみようという案が、施設の案内、カリキュラム、寮などを丁寧に説明していただきました。次に、我々も働いていますが、大人の職場体験をしに、石巻にある水産加工会社「湊水産」さんへ行ってきました。こちらの会社さんは震災で被災をしましたが、とても社員・お客様思いのすばらしい会社で、再建するまでの経緯など説明を聞き、そのあと「たらこ作り」を体験してきました。たらこを試食しながらお弁当をいただき会社を後にし、近くの元氣市場へと向かい買い物などを行い、学校へ戻り解散という旅行でした。

高校に入り、実際進路と言われても、子供も親もピンとこぼろばかりなので、対策委員として、まずは私たちがどういう職場でどんな人達が働いているのかなど学校も見学しておけば、子供達へ少しでも説明できるきっかけになったらいいなと思いました。

もつとたくさんの方々に参加出来るように日程を考えつつ、今回参加して下さった方々へこの場をお借りして感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

一年間を振り返って

調査広報委員会委員長 斎藤 貴仁

今年度、委員長を務めております斎藤貴仁と申します。日頃より会員の皆様には、PTA活動に多大なご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、調査広報委員会では、皆様のご協力のもと二回のPTA会報発行に向けて取り組んできました。編集方針は、「親と子と学校の三者を結ぶ魅力ある広報紙を作ろう」です。

PTA会報「こうよう」を通じて、子ども達の学校生活や学校行事での様子、部活動・委員会活動などでの活躍の様子などを、各ご家庭へお伝え出来たのであれば幸いです。

また、一回目に発行したPTA会報「こうようNo.44」につきましては、東北支部広報紙コンクールで地区代表第二位となり、宮城県広報紙コンクールへのご推薦をいただきました。これも偏に、皆様方のご支援・ご協力があったことだと思っております。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

来年度も保護者の皆様へ、子どもたちの学校生活の様子やPTA活動について、沢山お伝えできる広報紙づくりを行っていきたくと思います。一年間ありがとうございました。



ご卒業おめでとうございます

「成長に感謝」

三学年主任 増田 雄次郎



令和六年元日、能登半島地震が発生、航空機の事故も重なり不安な年明けとなりました。本来ならば卒業を祝う饗の挨拶を記すべきところ申し訳ありません。

地震発生時は、京都（震度四）に帰省中。子供と映画「劇場版 SPY FAMILLY」を見るために席に落ち着く。本編前の予告を見ながらポップコーンをつまんだ指の塩を舐めていたその時、長い周期の大きい揺れ。館内は暗転。悲鳴をあげる子どもたちを落ち着かせ平穏を装いましたが、心穏やかではありませんでした。結局、大事にはいならず、映画は再開、楽しく観ることができました。目を追う毎に被災地の報道が目に入り、東日本大震災発生当時のことを振り返るようになりました。

十三年前は、石巻で被災。そのときは独り身で自分のことで精一杯でした。そして震災当時この卒業生は五歳か六歳、我が家の末っ子と同じ年です。指定

避難所になった水産高校の校舎にも、小さい子どもを連れた家族が身を寄せていたのを思い出します。不安の日々の中、何を思い過ごしていたのでしょうか。子どもたちを守り、これからどう生きていくか。保護者の皆様の強い意思に感服するとともに、親として少しでも共感することができました。

そんな生徒達が、大きく育ち成人として巣立っていきます。気仙沼を離れる生徒も多くいます。進む道は前途多難で混沌（VUCAの時代）としておりますが、先日は課題研究発表会も立派にやり遂げました。少々の困難には自分で立ち向かえるようになったと思えます。保護者の皆様に大切に守られ育てられた命、これからは自ら大切な人を守るような大きく強い人間になつてくれると思います。彼女らの母親や父親のように。最後に「卒業おめでとう」といわせてください。三年間ありがとうございました。

感謝の気持ちを忘れずに

情報海洋科担任 中野渡 純也



卒業生の皆さん、そして保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした三年間は、本当にあつという間でした。出会いや別れ、新しい環境での生活・・・様々な経験を通じて、皆さんは見違えるほど大きく成長したと思います。コロナ感染症に関する行動制限が徐々に緩和される中、授業や学校行事など、自分たちができることに精一杯取り組みました。今年度は体育祭での現地応援や、向洋祭の飲食の提供が可能となり、最上級生をしてこれまで以上に盛り上がりを見せてくれました。皆さんの企画する力、そしてそれを実現する力は、本当に素晴らしいと思います。是非、これからもその力を生かして欲しいです。

さて、皆さんはこれから社会人として新しい環境へ一歩を踏み出します。高校生と違い、これまで以上に自分で考えて行動をしなければならぬことが増えます。先生から宿題や課題を

出されることはありませんが、自分で課題を見つけ、取り組むことで成長して欲しいと思います。そして辛いことや、悩むことも多くあると思います。一人ではできないことも、職場の人、友達、家族など、周りに協力してくれる人は必ずいます。力をしてくれる人は必ずいます。協力をしてくれると思います。ですが、それを当たり前と思わず、感謝の気持ちを忘れずに過ごして欲しいです。そして誰かが困っていたら、協力してください。これまで積み重ねてきた皆さんの良さが生かされて、愛にあふれた未来が待っていると信じています。

ここまで進んで来られたのは、クラス運営にご理解とご協力をいただいた保護者の皆様や皆さんのおかげです。皆さんに出会えて、担任をすることができて、とても幸せでした。体を大切にしてください。応援しています。それでは、また会う日まで。



三年間を終えて

産業経済科担任 大岡 晋

この度は、ご卒業おめでとう
ございます。また、保護者の皆
様におかれましては、三年間、
多大なるご理解とご協力をいた
だきまして、誠にありがとうございます。
ございました。

感染症対策における混乱の中、
様々な制約を受けてきた学年で
すが、学校行事をはじめとする
諸活動では生徒自身の発想や工
夫を通じて新しい道を切り開き、
とても頼もしい存在だったと思
います。三年次には幸いにも日
常や学校生活内でできる事が少
しずつ増えてきました。これま
でできなかったことや諦めてし
まったことを、少しずつ取り戻
して欲しいと思っております。

ど、多くの経験が何倍にも大人
にしてくれたと思います。

四月からはそれぞれの道を進
むこととなります。社会なんて
理不尽ばかりですし、大きな決
断を迫られることもあります。
「自分、何してるんだろう」と迷
うことだってあるでしょう。だ
からこそ道を見失わないように、
しっかりと自身の信念を持って
下さい。

最後に、私自身もこの三年間
貴重な経験をさせていただきま
した。至らない部分も多くあり
ましたが、こ
うして苦難や
喜びをクラス
や学年の皆と
分かち合えた
ことは、一生
忘れません。
三年間、本当
にありがとうございました。
ございました。



三年間を振り返って

機械技術科担任 六戸 陽香

卒業生の皆さん、保護者の皆
様、ご卒業おめでとうございま
す。三年間、三〇人の可愛い生
徒と一緒に過ごすことができ、
大変嬉しく思っております。こ
れもクラス運営にご理解とご協
力をいただきました保護者の皆
様のおかげに他なりません。本
当にありがとうございます。

「三年間同じクラスの担任」は
初めての経験でした。三年間の
中で、勉強も、部活も、学校生
活も、自分たちで考え、できる
ことが少しずつ増えていきまし
た。可愛らしさよりも頼もしさ
を感じる瞬間が多くなりました。

嬉しくもあり、寂しくもある、
なんとも言えない気持ちに何度
なつたでしょうか。しかし、そ
の成長が私が向洋で頑張る理由
だったことは間違いありません。

K3のみんな、三年間ずっと
伝えてきましたが、「愛される人」
であることがこれからの生活で
も大事だと私は思います。これ
まで通り、素直に、謙虚に、そ

して誠実であることを忘れずに。
自分で自分の道を切り拓いてく
ださい。みんななら大丈夫だと
自信を持って送り出せます。辛
いことや上手くないことがあ
ったなら、一度立ち止まって、
考え、後悔が少ない道を選ぶ
といいなと思っております。三〇
人と過ごした毎日私の原動力
であり、宝物です。本当にあり
がとう。これからも応援してい
ます。

最後になります。担任含め、
クラスを温かく見守ってください
いたしました保護者の皆様から
御礼申し上げます。三年間あり
がとうございました。



卒業生進路先一覽

卒業生進路決定状況

(二月六日現在)

〈就職内定先一覽〉

情報海洋科 海洋類型

アーバン(株)／イイノガストランスポート(株)／シヨクユタンカー(株)／セイコーインスツル(株)／(株)アイリスプラザダイシンカンパニー／(株)キョーワテクノ／(株)トベ／(株)フジ・コーポレーション／(株)ホテル佐勘／(株)商船三井さんふらわあ／(株)東海／宮城県漁業協同組合／鹿児島船舶(株)／東京水産運輸(株)／海上保安学校

産業経済科

ANA FESTA(株)／TBCグループ(株)／(株)アベキ／(株)アミノ「うまい鮎鮎」／(株)サンデリカ仙台第一事業所／(株)トップス／(株)ヤマダデンキ／(株)紀生／(株)中華高橋水産／(株)東ハト／(株)東北フジパン仙台工場／(株)鈴廣蒲鉾本店／気仙沼信用金庫／社会福祉法人キングス・ガーデン宮城／太平洋フェリーサービス(株)／東洋冷蔵(株)東北支店

機械技術科

エコーテックノロジー(株)／キョーユー(株)／(株)シー・テック／(株)ファースト・ケア／(株)ユーワ技研／(株)気仙沼商会／(株)小森コーポレーション／(株)新和エンジンサービス／(株)登米精巧／(株)日本空調東北／東洋冷蔵(株)東北支店／三菱重工(株)神戸造船所／徳和工業(株)／日産自動車(株)／自衛隊(陸上、航空)／宮城県職員(警察)

機械技術科

石巻専修大学／東北学院大学／聖和学園短期大学／東北能力開発大学校／仙台デザイン&テクノロジ専門学校／仙台工科専門学校／仙台大原簿記情報公務員専門学校／東北電子専門学校／専門学校トヨタ東京自動車大学校

〈進学先一覽〉

情報海洋科

東北学院大学／東北福祉大学／気仙沼リアス調理製菓専門学校／仙台医療秘書福祉&IT専門学校／仙台総合ビジネス公務員専門学校／東北電子専門学校／宮城県気仙沼向洋高等学校(専攻科)

産業経済科

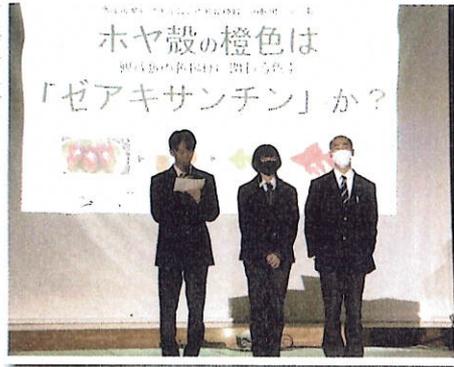
尚綱学院大学／石巻専修大学／東北工業大学／新潟食料農業大学／東北生活文化大学短期大学部／仙台青葉学院短期大学／気仙沼リアス調理製菓専門学校／気仙沼市立病院附属看護専門学校／仙台スイーツ&カフェ専門学校／仙台ヘアメイク専門学校／仙台医療秘書福祉&IT専門学校／仙台総合ビジネス公務員専門学校／仙台総合ペット専門学校／仙台理容美容専門学校／専門学校花壇自動車大学校

向洋祭

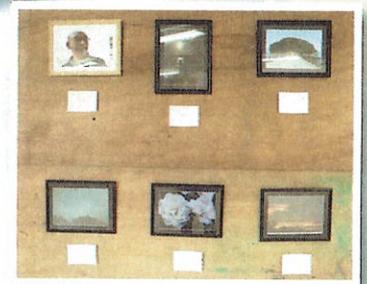
10月20日(金) 校内発表

10月21日(土) 校内公開

1日目 校内発表



2日目 校内公開



令和5年度 PTA 研修旅行

10月28日(土)、PTA研修旅行を実施しました。参加者は、16名。行き先は、石巻専修大学と石巻市水産総合振興センターの2カ所でした。今年度は、進路対策委員会の研修と一般の研修旅行をあわせての実施となりました。生徒の進路先の一つとして、石巻専修大学の教育施設等を見学することができました。石巻市水産総合振興センターでは、湊水産(株)スタッフのご指導により、「たらこ」づくりのワークショップに取り組みました。とても楽しかったです。

帰りには、湊水産(株)の販売直営店により、お土産を買いました。また、食材・食品・お土産品販売などを行っている「いしのまき元気いちば」により、自由時間を過ごしました。



(10月28日 PTA 研修旅行の様子)

皆さん、PTA会報「こうよう45」をご覧いただきましてありがとうございます。いかがだったでしょうか。今回も委員会を開くことがなかなか難しい状況でしたが、たくさんの方々からの支援によって今号も無事に発行することができました。ご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。この会報を通じて、子供達の活躍の様子が皆様にも少しでも多く届いていければ幸いです。

編集後記

- | | |
|-----|-------------|
| 委員長 | 齋藤 貫仁(新月) |
| 委員 | 熊谷 茂門(本吉) |
| | 小松 友美(大島鹿折) |
| | 菊田 由衣(大島鹿折) |
| | 鈴木 多恵(気仙沼) |
| | 佐藤 美香(階上) |
| | 阿部 留美(階上) |
| | 熊谷 美也(面瀬) |
| | 稲垣 美奈(松岩) |
| 事務局 | 伊比 卓夫 |
| | 長田 梨菜 |

※()内は支部名

PTA調査広報委員会